

1. 資料P4について、将来像として必要な要素が網羅されているか

1) 基本的な意見として、必要な要素は概ね盛り込まれているが、時間軸、4つの領域内の項目と各要素の関係性、世界と日本のトレンドの相違、次期基本計画で本格的に包括することを決めた人社系の役割などがまだ不十分かつ不明確なところがある。

2) 人口問題は極めて大きなインパクトを持つと考えられる。世界の人口動向をみると、今後2050年に向けて、2030年は以下の点で大きな転換点となる。

(1) 今後60歳以上人口は急速に増えるが、その中で寿命の延長などにより、80歳以上人口の占める割合が2030年以降急激に増加(全世界的)する(UN 2015: World Population Prospects)。これはどの国においても極めて大きな社会経済問題となることは必至である。

(2) 健康・医療・介護の領域の2項目「高齢者の支え手を増やすためのSTI」、「関連に人生を楽しむためのSTI」のうち後者を、「すべての人が生涯を通じて社会参加可能で生きがいのある人生を送れるSTI」、に変えてはどうか。

理由としては、高齢者(aged people)の定義については、すでに我が国の老年医学会は数年前に高齢者の新しい定義(75歳以上を高齢者、65~74歳を高齢者予備軍)とする提唱を様々な根拠を挙げて行っている。如何にして、人口が高齢化しても誰もが社会参加可能になる社会を目指すか、また、その人たちが生産性の高い社会参加を達成できるのか、言い換えればその人の属性に関係なく能力に応じて社会参加が可能になる未来を創るのか、その戦略と展望を医学的(病気の予防、治療)、科学的(STIによる人体の機能補てんや拡大・・・ムーンショット研究)、社会的(社会経済システム、リカレント教育など)な知恵を総動員して、未来型の社会を描く必要があるのではないか。

(3) この図には高齢者以外に障がい者(内部、外部)等が含まれていない。これらもふくめて考えるとすれば、やはり上述した如く、原案の二つ目、「関連に人生を楽しむためのSTI」を「すべての人が生涯を通じて社会参加可能で生きがいのある人生を送れるSTI」に置き換えてもよいのではないか。文字数が長いのであれば「すべての人が生きがいのある人生を送れるためのSTI」としてはどうか。

3) 教育と人材育成の位置づけについて

(1) 世界的にみると「中産階級の急速な拡大」がみられるが、わが国や韓国においては反対に「中産階級の崩壊」が進んでいると捉えられている。

(2) 我が国の経済の持続的発展の方向性の重要な要素としての内需の拡大を明確に位置付ける必要がある。購買力や経済力のある中間層、それも急激に変わりゆく社会の中で生産性の高い(したがって収入もそれなりにある)中間層の拡大は、わが国にとって重要である。これがなければ高度医療も手に届かず、富裕層中心の技術になってしまう。

中間層の拡大には多様な施策が必要であるが、専門人材の不足も深刻であり、科学技術政策の観点からすれば、リカレント教育も含めて高等教育機関の果たす役割は極めて

て重要である。

(3) 教育や人材育成は4つの領域のすべてにおいて重要であるので、四つの円の中央に、「雇用・産業」と並んで、人材育成・教育を入れてはどうか。

2. 将来像からSTI(科学技術・イノベーション)政策へのバックキャストをどのように行うか

3. 各セクターはどのように役割分担して取り組んでいくべきか

- 1) 最も重要なのは、どの様な日本にしたいかという将来像である。
- 2) 将来像を作る際には、国内外の人社系専門家を入れた議論が必須であると思われる。
- 3) CSTIにおいてもその重要性はすでに議論済み。EUでも米国でも最初から議論に加わっている。狭い意味のSTI政策では社会との整合性が取れなくなる可能性が高い。
- 4) しかる後にバックキャストで戦略と政策を立てるが、これはあくまで絵空事であってはならず、一方でフォアキャストをしながら、この間のギャップを埋めるための課題を明確にして、効率的かつ集中的に課題解決にあたることが重要。
- 5) また政策遂行にあたっては、様々なステークホルダーに理解してもらい、明確に役割を果たしてもらうことが重要である。…国・自治体、大学、産業界、市民、など
この際、各セクターが、自身の役割を認識するとともに、「For The Public (Japan)」、「For The Sector」、「For The Company (Institution)」の要素が、相互にプラスになるような施策の立案が望ましい。

4. STIの果たす役割とは

5. STI政策の基礎となる価値観とは

- 1) 人間中心の未来社会創造のための中核的な手段
- 2) 従って、安心、安全、に加えて国際協調性が必須の要素
- 3) 従って、人社系を含む広い意味の科学の結集を図ることが必要で、そのような中でこそ、STIが未来を救う手段となる

6. 課題別／基盤的技術を生み出すための戦略も必要ではないか、その場合どの領域について戦略的に進めるか

- 1) 4つの円(柱ないし領域)のうち、地政学(安全、安心など)に関するものは、極めて人社系の果たす役割が高いと思われる。ぜひ、徹底した議論を進めるべきである。

以上